

平成 26 年 度
第 137 回 簿 記 検 定 試 験

1 級

模
範
解
答

(平成 26 年 6 月 8 日(日)施行)

受験番号

第 137 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平 . . .

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

氏名 _____

商業簿記

問 1

(単位：円)

採点欄

借方科目	金額	貸方科目	金額
繰延内部利益	1,656	繰延内部利益戻入	1,656
繰延内部利益控除	2,470	繰延内部利益	2,470

問 2

本支店合併損益計算書

(単位：円)

期首商品棚卸高 (192,224)	売上高 (1,952,420)
当期商品仕入高 (1,287,860)	期末商品棚卸高 (101,690)
販管費 (302,640)	受取利息 (11,914)
減価償却費 (48,850)	有価証券売却益 (2,200)
貸倒引当金繰入 (4,546)	受取配当金 (600)
支払利息 (4,960)	() ()
(為替差損) (6,310)	() ()
(投資有価証券評価損) (11,000)	
(当期純利益) (210,434)	
() ()	
<u>(2,068,824)</u>	<u>(2,068,824)</u>

問 3

(単位：円)

勘定科目	金額
① その他有価証券	65,000
② 満期保有目的債券	79,600
③ その他有価証券評価差額金	9,100
④ 借入金	51,000
⑤ 前払費用	1,423

--	--	--	--

第 137 回簿記検定試験答案用紙

氏名

1 級 ②

会 計 学

試験地(会議所名)	採 点 欄

第 1 問

採 点 欄

(1)	(2)	(3)
持 分 法	数理計算上の差異	破産更生債権等
(4)	(5)	
将来加算一時差異	組 替 調 整	

--

第 2 問

設問 1

	A 社株主	B 社株主
P 社に対する議決権比率	25 %	75 %

--

設問 2

取得会社名	B 社
-------	-----

設問 3

A 社株式の取得原価	6,000 千円
B 社株式の取得原価	18,000 千円

設問 4

P 社連結財務諸表における金額	
資 本 金	12,000 千円
資本剰余金	9,000 千円
の れ ん	1,000 千円

第 3 問

設問 1	設問 2	設問 3
7,104 千円	151,326 千円	148 千円
設問 4	設問 5	
304,253 千円	211 千円	

--

受験
番号

第 137 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平 . .

試験地 (会議所名)	採点欄

1 級 ③

氏名 _____

工業簿記

第 1 問

①	②	③	④	⑤
工	コ	才	力	キ

採点欄

第 2 問

問 1

仕 掛 品		(単位:円)
月初仕掛品 (388,976)	製 品 (37,876,616)	
直接材料費 (3,954,100)	月末仕掛品 (272,170)	
加 工 費 (33,805,710)		
(38,148,786)	(38,148,786)	

問 2

製品 A	製品 B
12,593,296 円	20,304,900 円

生年月日 昭・平
氏名

第 137 回簿記検定試験答案用紙

受験
番号

1 級 ④
原 価 計 算

試験地(会議所名)	採 点 欄

第 1 問
問 1

直接原価計算方式による月次損益計算書

(単位：円)

	第 1 工程	第 2 工程	第 3 工程
売 上 高	2,560,000	1,230,000	3,640,000
変 動 売 上 原 価 :			
直 接 材 料 費	3,200,000	240,000	160,000
直 接 加 工 費	300,000	120,000	60,000
変 動 間 接 加 工 費	390,000	105,600	30,000
前 工 程 費	0	2,334,000	1,959,720
計	3,890,000	2,799,600	2,209,720
次 工 程 振 替 高	2,334,000	1,959,720	0
差 引 : 変 動 売 上 原 価	1,556,000	839,880	2,209,720
貢 献 利 益	1,004,000	390,120	1,430,280
固 定 費	720,000	108,000	86,400
工 程 利 益	284,000	282,120	1,343,880

採 点 欄

問 2

	第 1 工程	第 2 工程	第 3 工程
貢 献 利 益 率	39.22 %	31.72 %	39.29 %
工 程 利 益 率	11.09 %	22.94 %	36.92 %

第 2 問

	I 欄	II 欄
(1)	b	職 能 別
(2)	b	製 品 原 価
(3)	d	加 算

商業簿記解説(単位：円)

問1

期首商品に含まれる内部利益 120ドル×@92×15%=1,656
 期末商品に含まれる内部利益 (78ドル×@98+8,820)×15%=2,469.6 → 2,470

問2 問3

未達取引

① 本店より仕入 90ドル / 本店 90ドル
 90ドル×@98=8,820円
 ② 本店 100ドル / 売掛金 100ドル
 100ドル×@100=10,000円
 貸倒無引当金の修正
 貸倒無引当金 3ドル / 貸倒無引当金繰入 3ドル
 100ドル×3%×@98=294円

(損益計算書)

売上高	:	6,930ドル×@98(期中平均レート)=	679,140円
期末商品棚卸高	:	330ドル×@98(期中平均レート)+8,820=	41,160円
受取利息	:	112ドル×@98(期中平均レート)=	10,976円
当期純損失	:	B/Sより	1,500円
			<hr/>
			732,776円
			<hr/>
期首商品棚卸高	:	390ドル×@92(前期期中平均レート)=	35,880円
当期商品仕入高	:	4,500千ドル×@98円(期中平均レート)=	441,000円
本店より仕入	:	570ドル×@98(期中平均レート)+8,820=	64,680円
販管費	:	1,680ドル×@98円(期中平均レート)=	164,640円
減価償却費	:	90ドル×@90円(取得日レート)=	8,100円
貸倒引当金繰入	:	(30ドル-3ドル)×@98円(期中平均レート)=	2,646円
支払利息	:	100ドル×@98円(期中平均レート)=	9,800円
為替差損	:	P/L 貸借差額	6,030円
			<hr/>
			732,776円

本店における決算修正事項等

① 仕入	158,000	/	繰越商品	158,000
繰越商品	63,000	/	仕入	63,000
② 減価償却費	40,750	/	建物減価償却累計額	8,750
		/	備品減価償却累計額	32,000

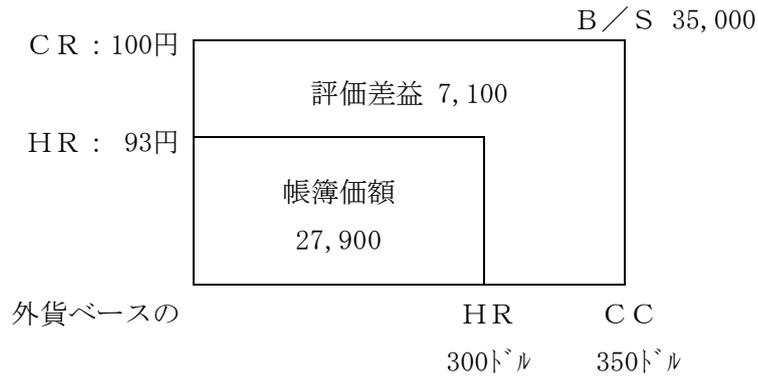
建物： 315,000 ÷ (40年-4年) = 8,750

備品： $\frac{48,800}{5年-2年} \times 200\% = 32,000$

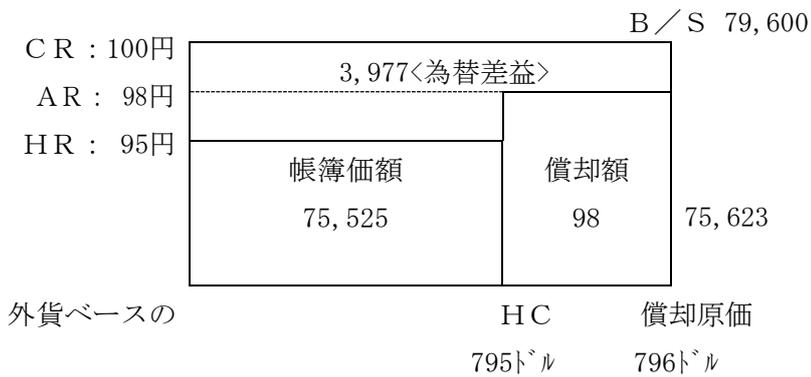
③ その他有価証券	2,000	/	その他有価証券評価差額金	2,000
その他有価証券	7,100	/	その他有価証券評価差額金	7,100
満期保有目的債券	98	/	受取利息	98
満期保有目的債券	3,977	/	為替差益	3,977
投資有価証券評価損	11,000	/	その他有価証券	11,000

A社株式 時価 22,000 - 簿価 20,000 = 2,000 (評価差益)

B社株式

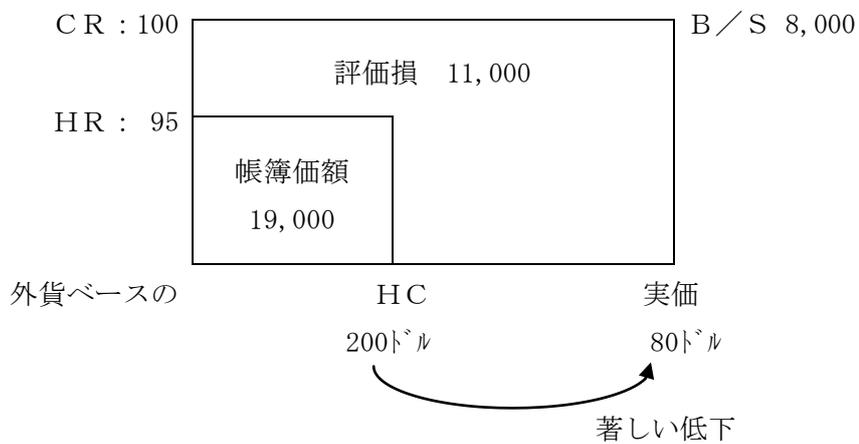


C社社債

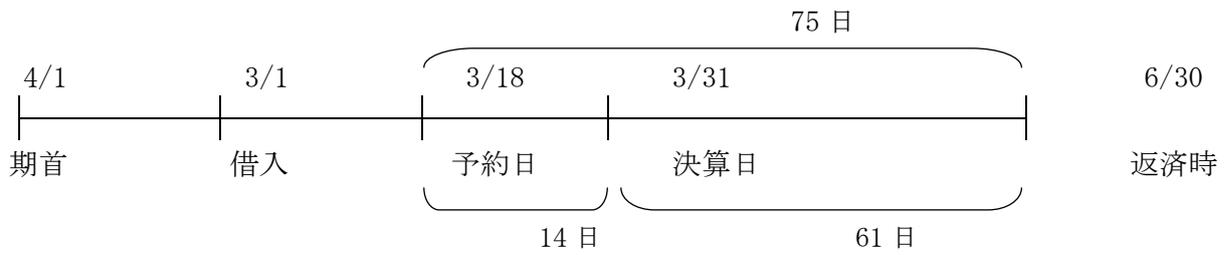


$$\frac{\text{償却額} \times (\text{800ドル} - \text{795ドル})}{60 \text{ か月}} = 1 \text{ ドル}$$

D社株式



④	為替差品	250	/	借入金	2,000
	前払費用	1,750			
	為替差損	327	/	前払費用	327



直物レート	@98	@98.5	
予約レート		@102	
借入金	$(@102 - @98) \times 500 \text{ ドル} = +2,000$ 貸借対照表価額 @102 × 500 ドル = 51,000		
為替差損益(直々差額)	$(@98 - @98.5) \times 500 \text{ ドル} = \Delta 250$		
前払費用(直先差額)	$(@98.5 - @102) \times 500 \text{ ドル} = \Delta 1,750$		
前払費用(当期割当額)	$1,750 \times 14 \text{ カ月} / 60 \text{ カ月} = 326.66\cdots \rightarrow 327$		
⑤ 貸倒引当金繰入	2,000	／ 貸倒引当金	2,000
	$80,000 \times 2\% + (700 \text{ ドル} \times @100) \times 3\% - 1,700 = 2,000$		
⑥ 償却債権取立益	100	／ 貸倒引当金繰入	100
本支店合併修正仕訳			
内部取引の相殺			
支店へ売上	64,680	／ 本店より仕入	64,680
受取利息	7,840	／ 支払利息	7,840
	$80 \text{ ドル} \times @98 = 7,840 \text{ 円}$		
内部利益の処理			
繰延内部利益	1,656	／ 繰延内部利益戻入	1,656
繰延内部利益控除	2,470	／ 繰延内部利益	2,470

会計学解説

第1問

- (1) 持分法に関する会計基準 4 を参照
- (2) 退職給付に関する会計基準 11 を参照
- (3) 金融商品に関する会計基準 27(3) 28(3)を参照
- (4) 税効果会計に係る会計基準第二 一 3 を参照
- (5) 包括利益の表示に関する会計基準 9 を参照

第2問 (単位：千円)

問1

交付株式数： A社 5,000株×0.6=3,000株
 B社 9,000株×1.0=9,000株

議決権比率： A社 $\frac{3,000 \text{株}}{3,000 \text{株}+9,000 \text{株}} \times 100 = 25\%$
 B社 $\frac{9,000 \text{株}}{3,000 \text{株}+9,000 \text{株}} \times 100 = 75\%$

問2 B社株主の議決権比率が50%を超えているので、B社が取得企業となる。

問3

取得原価 A社(時価) @2,000円×3,000株=6,000千円
 B社(簿価) 12,000千円+3,000千円+3,000千円=18,000千円

問4

P社(株式移転時の処理)

A社分に対して

A社株式 6,000	資本金 3,000
	資本剰余金 3,000

資本組入額 6,000千円×1/2=3,000千円

資本剰余金 6,000千円-3,000千円=3,000千円

B社分に対して

B社株式 18,000	資本金 9,000
	資本剰余金 9,000

資本組入額 18,000千円×1/2=9,000千円

資本剰余金 18,000千円-9,000千円=9,000千円

P社(連結時の処理)

A社に対して

資産、負債の時価評価

諸資産 1,500	評価差額 1,500
-----------	------------

評価益額 12,000千円-10,500千円=1,500千円

投資勘定と資本勘定の相殺消去

資本金 2,500	A社株式 6,000
資本剰余金 600	
利益剰余金 400	
評価差額 1,500	
のれん 1,000	

のれん 6,000千円-(2,500千円+600千円+400千円+1,500千円)=1,000千円

B社に対して

資 本 金	12,000	B 社 株 式	18,000
資 本 剰 余 金	3,000		
利 益 剰 余 金	3,000		

B社に対しては、利益剰余金 3,000 千円はそのまま引き継ぐため、P社で計上した資本剰余金から利益剰余金に振り替える。

資 本 剰 余 金	3,000	利 益 剰 余 金	3,000
-----------	-------	-----------	-------

結合後連結貸借対照表は、次のようになる。

諸 資 産	42,000	諸 負 債	19,000
の れ ん	1,000	資 本 金	12,000
		資 本 剰 余 金	9,000
		利 益 剰 余 金	3,000
	43,000		43,000

第3問 (単位：千円)

設問1 $8,000 \times 0.88797 = 7,103.76 \rightarrow 7,104$

設問2 機械装置の取得原価 $(900,000 + 7,104) \div 6 \text{年} = 151,184$
 利息費用 $7,104 \times 2\% = 142.08 \rightarrow 142$
 $151,184 + 142 = 151,326$

設問3 平成×2年4月1日～平成×3年3月31日の増加額
 $(7,104 + 142) \times 2\% = 144.92 \rightarrow 145$
 7,246

平成×3年4月1日～平成×4年3月31日の増加額
 $(7,246 + 145) \times 2\% = 147.82 \rightarrow 148$
 7,391

設問4 資産除去費用の増加額 $2,000 \times 0.94260 = 1,885.2 \rightarrow 1,885$
 取得時の機械装置の金額 $907,104 - (151,184 \times 4 \text{年}) = 302,368$
 $1,885 + 302,368 = 304,253$

設問5 取得時の計上額
 平成×4年4月1日～平成×5年3月31日の増加額
 $(7,391 + 148) \times 2\% = 150.782 \rightarrow 151$
 7,539

平成×5年4月1日～平成×6年3月31日の増加額
 $(7,539 + 151) \times 2\% = 153.8 \rightarrow 154$
 7,690

平成×5年3月31日時点の増加額
 $1,885 \times 3\% = 56.55 \rightarrow 57$
 $154 + 57 = 211$

工業簿記解説(単位：円)

第1問 原価計算基準を参照

第2問 (単位：千円)

製品A

第1工程		第1工程完成品		第2工程		製 品	
投入 1,020個	完成 1,010個	月初 20個	払出 1,014個	投入 1,014個	完成 1,010個	月初 8個	販売 1,012個
	仕損 10個	完成 1,010個	月末 16個		仕損 4個	完成 1,010個	月末 6個

製品B

第1工程		第1工程完成品		第2工程		製 品	
投入 1,220個	完成 1,210個	月初 16個	払出 1,216個	投入 1,216個	完成 1,212個	月初 15個	販売 1,215個
	仕損 10個	完成 1,210個	月末 10個		仕損 4個	完成 1,212個	月末 12個

材 料 A

月 初 100個@2,047 204,700	消 費 100個 @2,047
仕 入 1,000個 @2,050 2,050,000	920個 @2,050 2,090,700
	月 末 80個@2,050 164,000

材 料 B

月 初 200個@1,463 292,600	消 費 200個 @1,463
仕 入 1,200個 @1,540 1,848,000	1,020個 @1,540 1,863,400
	月 末 180個@1,540 277,200

製品A

第1工程 原 価 計 算 表 (単位：円)

摘 要	材 料 A		加 工 費		合 計
	数 量	金 額	換算数量	金 額	
当 月 投 入	1,020	2,097,700	1,020	7,423,500	9,514,200
正 常 仕 損	10	—	10	—	—
差引：完成品	1,010	2,097,700	1,010	7,423,500	9,514,200

加工費配賦額 : @7,070×1,050時間=7,423,500

第1工程完成品の計算

摘 要	数 量	金 額
当 月 完 成 品	1,010	9,514,200
月 末 製 品	16	150,720
差 引	994	9,363,480
月 初 製 品	20	191,120
計：次工程振替	1,014	9,554,600

月初製品原価 : @9,556×20個=191,120

第2工程 原 価 計 算 表 (単位：円)

摘 要	前 工 程 費		加 工 費		合 計
	数 量	金 額	換算数量	金 額	
当 月 投 入	1,014	9,554,600	1,014	6,156,960	15,711,560
正 常 仕 損	4	—	4	—	—
差引：完成品	1,010	9,554,600	1,010	6,156,960	15,711,560

加工費配賦額 : @6,060×1,016時間=6,156,960

製品Aの計算

摘 要	数 量	金 額
当月完成品	1,010	15,711,560
月末製品	6	93,336
差引	1,004	15,618,224
月初製品	8	124,480
計：販売品	1,012	15,742,704

月初製品原価 : @15,560×8個=124,480

売上総利益の計算

売上高	@28,000×1,012個	28,336,000
売上原価		15,742,704
売上総利益		<u>12,593,296</u>

製品B

第1工程 原価計算表 (単位：円)

摘 要	材 料 B		加 工 費		合 計
	数 量	金 額	換算数量	金 額	
当月投入	1,220	1,863,400	1,220	12,832,050	14,695,450
正常仕損	10	—	10	—	—
差引：完成品	1,210	1,863,400	1,210	12,832,050	14,695,450

加工費配賦額 : @7,070×1,815時間=12,832,050

第1工程完成品の計算

摘 要	数 量	金 額
当月完成品	1,210	14,695,450
月末製品	10	121,450
差引	1,200	14,574,000
月初製品	16	197,856
計：次工程振替	1,216	14,771,856

月初製品原価 : @12,366×16個=197,856

第2工程 原価計算表 (単位：円)

摘 要	前 工 程 費		加 工 費		合 計
	数 量	金 額	換算数量	金 額	
当月投入	1,216	14,771,856	1,216	7,393,200	22,165,056
正常仕損	4	—	4	—	—
差引：完成品	1,212	14,771,856	1,212	7,393,200	22,165,056

加工費配賦額 : @6,060×1,220時間=7,393,200

製品Bの計算

摘 要	数 量	金 額
当月完成品	1,212	22,165,056
月末製品	12	219,456
差引	1,200	21,945,600
月初製品	15	274,500
計：販売品	1,215	22,220,100

月初製品原価 : @18,300×15個=274,500

売上総利益の計算

売上高	@35,000×1,215個	42,525,000
売上原価		22,220,100
売上総利益		<u>20,304,900</u>

原価計算解説

第1問 (単位：円)

問1

[資料] I ×6年5月の工程別月次損益計算書

(単位：円)

	第1工程	第2工程	第3工程
売上高	2,560,000	1,230,000	3,640,000
売上原価：			
直接材料費	3,200,000	240,000	160,000
直接加工費	300,000	120,000	60,000
間接加工費	900,000	360,000	180,000
前工程費	0	2,640,000	2,352,000
計	4,400,000	3,360,000	2,752,000
次工程振替高	2,640,000	2,352,000	0
差引：売上原価	1,760,000	1,008,000	2,752,000
売上総利益	800,000	222,000	888,000

第2工程 売上原価 $1,230,000 - 222,000 = 1,008,000$

治工程振替高 $3,360,000 - 1,008,000 = 2,352,000$

直接加工費 資料Iより

変動間接加工費 第1工程 $300,000 \times 130\% = 390,000$

第2工程 $120,000 \times 88\% = 105,600$

第3工程 $60,000 \times 50\% = 30,000$

次工程振替高 第1工程 $\frac{2,640,000}{4,400,000} \times 100 = 60\%$

$3,890,000 \times 60\% = 2,334,000$

第2工程 $\frac{2,352,000}{3,360,000} \times 100 = 70\%$

$2,799,600 \times 70\% = 1,959,720$

変動売上原価 第1工程 $\frac{1,760,000}{4,400,000} \times 100 = 40\%$

$3,890,000 \times 40\% = 1,556,000$

第2工程 $\frac{1,008,000}{3,360,000} \times 100 = 30\%$

$2,799,600 \times 30\% = 839,880$

固定費 第1工程 資料IIより

第2工程 資料IIより

第3工程 貢献利益と工程利益の差額より

問2

< 貢献利益率 >

第1工程 $\frac{1,004,000}{2,560,000} \times 100 = 39.21875\% \rightarrow 39.22\%$

第2工程 $\frac{390,120}{1,230,000} \times 100 = 31.717\cdots\% \rightarrow 31.72\%$

第3工程 $\frac{1,430,280}{3,640,000} \times 100 = 39.293\cdots\% \rightarrow 39.29\%$

< 工程利益率 >

$$\text{第1工程} \quad \frac{284,000}{2,560,000} \times 100 = 11.09375\% \rightarrow 11.09\%$$

$$\text{第2工程} \quad \frac{282,120}{1,230,000} \times 100 = 22.936\cdots\% \rightarrow 22.94\%$$

$$\text{第3工程} \quad \frac{1,343,880}{3,640,000} \times 100 = 39.919\cdots\% \rightarrow 39.92\%$$

第2問

原価計算論等を参照